

国立大学附属学校
校園長、副校園長、教頭、PTA会長 各位

障がいを知り、共に生きる
あいサポーター研修
～ 開催のおねがい～

子どもたちのこころを育てるあいサポーター研修



「あいサポート運動」は、平成21年11月に鳥取県で創設され、障がいのある方が困っていること、障がいのある方への必要な配慮などを理解し、日常生活においてちょっとした配慮や手助けを実践していく「あいサポーター」の活動を通じて、誰もが暮らしやすい地域共生社会を皆で一緒につくっていく運動です。

「あいサポート運動」は、創設以来、多くの方の賛同を得て、その輪が全国に広がっています。通常は、自治体間で結ぶ連携協定を、任意団体として初めて全附P連が結ぶことにより、全国の附属学校の子どもやPTAで運動を推進していくことが可能になりました。

障がいとは、特別ではなくひとつの個性であり、誰もが当事者となる可能性があります。日々の生活の中ではそれを知る機会は限られています。障がいを身近に感じ、さらには、「あいサポーター」として、この運動を地域に広げ、附属学校が地域の「やさしさの中心」となることができるよう、是非「あいサポーター研修」の開催をご検討ください。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。

＊お申し込み・お問合せは下記まで

全附P連 幼稚園特別支援委員会 yotoku.zenfu@zenfuren.org

詳しくは、次葉以後をご覧ください。





「令和7年度 あいサポーター研修」 募集要項

1. 目的

全国の附属学校が地域の中心となり、障がいを知り、障がいのある方が困っていることや障がいのある方への必要な配慮などを理解することで、日常生活においてちょっとした配慮や手助けを実践していく「あいサポーター」の普及を通じて、誰もが暮らしやすい地域共生社会をつくること。

2. 対象

附属学校に通う児童・生徒、保護者、教職員

3. 研修内容

「あいサポーター研修」には、次の2つの形式があります。研修内容は状況に応じ、異なる場合がありますのでご了承ください。

1) 保護者・教員・地域の方々向け（講演形式・リモート可）【約75分】

- ① 「あいサポート運動」について（約10分）
 - A. 「あいサポート運動」の目的
 - B. 障がいのある方が困っていることの例示、背景
 - C. 「あいサポーター」について
 - D. 「障がいを知り、ともに生きる」（ハンドブックについて）
- ② あいサポート研修（約50分）
- ③ 「あいサポート運動」への協力依頼、あいサポートバッジの説明（約3分）
- ④ 最後に（約2分）
- ⑤ 簡単な手話講座（約10分）

2) 小学校5年生以上の児童生徒向けの例（体験形式・リモート要相談）【合計2時限】

【1限目】

- ① 学習のテーマとメッセージ自己紹介
- ② あいサポート運動について
- ③ 社会的障壁・障害者差別解消法・バリアフリーユニバーサルデザインについて
- ④ 視覚障がいについて
- ⑤ 触地図体験（2人1組）
- ⑥ 内部障がいについて
- ⑦ 知的障がいについて
- ⑧ 肢体不自由について
- ⑨ 車椅子の使い方説明

【2限目】

- ① 車椅子体験（各クラスごとにグループ）
- ② 聴覚障がいについて

- ③ 聴覚障がいについて補足と簡単な手話講座
- ④ 精神障がいについて
- ⑤ てんかんについて
- ⑥ 精神障がいとてんかんについて補足
- ⑦ まとめと質疑応答

4. 申請方法

右のQRコードにアクセスのうえ、申請書に必要事項を記入し、お申し込み先までメールで申請書をお送りください。



- ※ 保護者向け研修は、各地区1単位PTAを目途に募集します。
- ※ 教職員向け研修は、ご要望があればメッセージャー養成研修を併せて開催します。
- ※ 研修は無料で開催します（ハンドブック・バッジ代1セットは無料配布します）。

5. 全附P連のサポートの流れ

- ・申請のあったPTAおよび学校側担当の先生と、全附P連担当理事が打合せを行います。
- ・申請のあった学校園に合わせたカリキュラムを共に検討します。
- ・当日は、「あいサポートメッセージャー（講師）」を派遣し、「あいサポーター研修」を実施します（オンライン開催も可）。

6. 注意事項

- ・申請からおおよそ10日までを目途に、弊会から受付確認メールをお送りします。確認メールが届かない場合は、お問合せ先までご連絡ください。
- ・申請件数が多い場合は実施校園の調整をさせていただくことがあります。
- ・次年度以降の開催申請も同時に受け付けております。

7. お申込み先・お問合せ先

全附P連 幼稚園特別支援委員会 yotoku.zenfu@zenfuren.org

以上